

「土徳の地」ひもとく

20日に奥能登塾

西山さんが講演

能登の地域資源を生かした振興策を探る「奥能登塾」は20日、第5回講座（本社

さんが「土徳の地における情報発信を考える」をテーマに講演する。

後援）を能登空港ターミナルビルで開く。能登の民俗に詳しい真宗大谷派西勝寺（珠洲市）住職の西山郷史

西山氏は、真宗王国と呼ばれる地では教えや講を通じて、勤勉や助け合いの精神が育まれたとし、報謝に

生きる人々の営みが織り成してきた地を「土徳の地」と称して解説する。

20日午後1時半からで、講演後は参加者で意見交換する。希望者は事務局の奥能登総合事務所企画振興課に申し込む。

奥能登塾は昨年6月、地域おこしに取り組む有志や県の呼び掛けで発足した。